

-----7月19日-----

## 今週のアウトルック(7/19~7/23)

先週は週末近くに一気に円高が進みました。要因としては、米国の経済指標に悪いものが多く、米国を中心とした景気回復観測に対する不透明感が、一段と大きくなったことがあげられると思います。

ただ、一日の流れの中では、東京市場で株安の割に円安が進み、ロンドン市場を中心に円高が進んで、NY市場の後半では再び円安に少しふれるというような流れが続いているように思います。

ドル円は昨年11月の最安値の85円付近に迫っています。今週も投機筋を中心に、景気回復懸念からの売りを仕掛けて、85円割れをトライしたいという状況は大きいと思います。

ここを抜けてしまうと次の目標は80円あたりになってしまうので、円高が一気に進んでしまう可能性も考える必要があるように思います。

ドル円の予想レンジは80円から87円です。

ユーロはドル円の流れに合わせて、ユーロ安が進むと考えがちですが、それ以上にユーロドルの買い戻しが強いように思います。1.3を超えても、買われすぎ感がそれほど出ていないように思います。ユーロの売りこみは一旦終了ということで、1.35程度まで戻る可能性を考える必要があります。それに合わせて、ユーロ円は乱高下しながら、徐々に円安という流れかもしれません。ただ、ドル円の円高が一気に進むと、そちらの影響のほうが大きくなりそうなので、一概に決めつけることはできないと思います。

ユーロ円の予想レンジは111円から114円です。

ポンド円も基本的には乱高下の可能性が高そうです。ユーロよりもこちらの方が方向感は定まりにくいように思います。

ポンド円の予想レンジは131円から136円です。

全般的に、しばらくは夏休み前の仕掛けと利益確定が交錯し、ボラティリティ大きくなりやすいように思います。

「しばらくは景気回復懸念からの円高」と決めつけてしまうと、思わぬしっぺ返しも合いそうなので注意が必要です。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。